

平成 29 年 2 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

2月の業種別景況の前月比DI値は、2月が閑散期である業種も多い事から、14業種の内、食料品と一般機器のみが前年同月比で好転しているが、前月同等が6業種、悪化が6業種となり、全体の景況感は若干悪化している。

一般機器、輸送機器で受注の増加や設備稼働率の上昇との報告もあるが、木材・木製品、印刷、小売業、商店街、サービス業のように売上減少の報告も多い。

人員・人材不足について、一般機器・小売業・サービス業・運輸業・その他（介護事業）からの報告が引き続いている。

山口県の主要指標 DI 値（平成 29 年 2 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況

（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転： 1.3% 悪化：31.3% DI 値：▲30.0% ポイント

売上高

（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加： 7.5% 減少：32.5% DI 値：▲25.0% ポイント

収益状況





（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）


前年同月比は、好転： 5.0% 悪化：27.5% DI 値：▲22.5% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 29 年 2 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲28.6	▲25.0	▲33.3	▲50.0	▲66.7	11.1	0.0	▲24.3
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	その他	全 非 製 造 業
▲20.0	▲66.7	▲75.0	▲18.2	▲30.0	0.0	▲100.0	▲34.0
							

全 体
▲30.0


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	めかり・壇ノ浦 P A が耐震工事中のため、王司 P A ・美東 S A の売上が好調となっている。	パン・菓子製造業
	2月 は 2 / 2 4 時点の対前年同月比は、ほぼイーブンである。前半は全般的に天候不順な日が多くシケ等による鮮魚・活魚の品不足もあり対前年実績を割る推移だったが、後半からは売上が伸びてきた。2 / 1 8 から笠山椿祭りのスタートと当館隣接の親水公園の河津桜の開花が始まり客足は増え、花の集客力はなかなかスゴイと再認識した。農水省外郭団体「農林水産業成長産業化支援機構」（通称 A-Five）とのタイアップで、新スタイルの産直通販事業のテスト運用を実施する予定である。	水産食料品製造業 萩市
	商品の動きが鈍く、世界的な経済状況の先行き不安が大きいのか、読みづらい。	水産食料品製造業 下関市
	季節外れの大雨が降り農作物への影響が懸念されている。地球温暖化に伴う異常気象のせいか、鳥取県で記録的な大雪になるなど、企業経営における天候リスクがさらに高まってきている。突然の自然災害へ対応できる農産物の売上に関する保険制度のような仕組みづくりが必要になってきている。トランプ政権が発足し、アメリカで様々な措置がとられているが、それに伴う日本への影響が懸念される。	精穀・製粉業
繊維工業	前月と変わらず、4月末までの受注量があり順調である。	下着類製造業
	受注先の売上が伸び悩んでいる模様で在庫調整があり、受注が減少している。	外衣・シャツ製造業 下関市
	前月からの資材の未入荷の改善もなく、生産性が上がらず依然厳しい状況が続いているなかで、確定した納期の追加発注があるため、資材投入の改善を依頼した。例年発注のある製品が、今年は当てに出来ないため、急遽他での受注活動に苦慮している。	外衣・シャツ製造業 萩市
木材・木製品	積雪が多かったので製品が減少している。	製材業・木製品製造業 山口市
	組合員間で多少の差はあるが、好転には至っていない。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	中国地区の下期地区印刷協議会が岡山にて開催された。その会議の中で、大学入試の願書が電子化された影響で、願書印刷の仕事がほとんど無くなったとの報告があった。こういった状況に対応するため業界では、これまでの印刷業が受け持っていた事業領域を広げて行く動きが必要であると、全国印刷工業	印刷 下関市

	組合連合会の指針にも示されるようになった。	
	繁忙期の始まりにもかかわらず昨年より受注が減少し、3月の受注、売上はいまだ期待できない状況。	印刷 山口市
窯業・土石製品	2月の出荷量は、 (平成28年2月) 骨材90%、路盤材84%、再生材81% ↓ (平成29年2月) 骨材70%、路盤材82%、再生材85%	砕石製造業
	出荷量は、前月比80%、前年同月比100%、4月～1月までの出荷量は、前年比89%。今年度の出荷量予想は対前年度比94%で、来年度の出荷量予想は今年度を更に下回ると予想している。現在、生コン価格は安定しているが、出荷量が極端に少ない一部の遠隔地で値上げの動きがある。	生コンクリート製造業
	石材業界においては、新規の受注より移転の仕事が多くなってきており、移転の仕事が多くなると併せて磨き直しの注文が入る事がある。製品販売のみの業者では対応が難しく、原石から自社で加工販売をしている石材店でないと対応が出来ない。この流れは我々にとっては追い風となる為、組合としてPR活動に活かしていきたい。	石工品製造業
	平成28年に萩市を訪れた観光客は約137万人で、大河ドラマ・世界遺産で賑わった平成27年(約200万人)比べ68.7%とかなり落ち込んだ。一昨年の平成26年と比較すると102.4%と上回っているものの、急激な落ち込みでかなりの痛手である事は間違いない。さらにこの1～2月の萩市内観光客の落ち込みは深刻で、売上も前年同月比でも下回っている状況。旧萩藩校明倫館跡、明倫小学校が観光の拠点として生まれ変わり、「萩・明倫学舎」が3月4日にオープンする。その一角に萩のお土産ショップがあり、そこで販売する萩焼を萩焼協同組合が提供する事となった。そこでの売上はもちろんの事、昨年来観光客が激減している状況なので、この施設が起爆剤となり萩市内の観光客の増加・売上のアップに期待したいところである。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	景気は1月より若干の上昇傾向にあるが組合員間では格差がある。金型関係、海外プラント関係は6月頃までは上昇傾向にある。建設業関連は小口の需要はあるが、市外の物件を受注するにはコスト高になるため受注を躊躇している。海外の受注では、アメリカ大統領の政策が不透明なため不安感がある。雇用面は相変わらず人手不足が続いている。	一般機械器具製造業 防府市

	<p>機械検査、機械加工関係の下請企業の受注状況は引き続き安定している。惣菜、自動車、造船関係は好調で残業も多いため、36協定遵守の指導を続けている。食品・食肉加工業、溶接関係、惣菜業、自動車整備等は、引き続き人材の確保が困難で、外国人技能実習生の増員や新規の相談があったが、特に惣菜関係の人手不足は深刻である。国の制度改正が公布され説明会の開催も決定されてきたので、新制度による受入期間の延長、増員についての協議を進めている。なお、介護の受入についても複数の介護施設からの要望もあり、送り出し機関と条件の協議を進めており、大きな需要になる可能性がある。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
	<p>金型の生産設備稼働率では、マシニングセンターが延びている。受注量も何とか予定を上回っており、現時点で4月分までの受注量は確保している。成形製品関係の生産設備稼働率は、受注状況ともに昨年同時期よりは増加傾向にあるが、民生部品（家電部品、電子部品）など製品毎の受注量の変動や3月期末の在庫調整など、先が読みにくい状況は続いている。</p>	特殊産業用機械製造業
輸送機器	<p>鉄道車両部門は受注量の増加により好調な生産を維持しており、当分続く見込み。精密加工部門は生産量に陰りが見られるようになり落ち込んできており、春以降の受注量に期待したい。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>海苔は相変わらず価格が高くて買えない状態。エビ類の入庫が増えて売上が増加。</p>	乾物卸売業
	<p>2月はシケが多く魚の入荷が少ない。養殖フグは昨年と違い余りぎみ。天然フグは入荷が少ないため高騰している。</p>	生鮮・魚介卸売業
	<p>学生衣料の業界は生徒減少、お下がり等の利用もあり、売上を維持すること、ましてや売上を伸ばすことは年々難しくなり苦労している。</p>	各種商品卸売業
小売業	<p>県内数店舗で従業員が辞めた模様。化粧品業界は育てるのに3年くらいかかるので、やっと教育し育てた人が辞められるのは、売上にも関係してきますので本当に厳しいものがある。1～3月は閑散期なので、前年並みの売上であれば良い方だと思われるが、前年割れの店舗が多い様子。特に新商品が出ていないので厳しい現状。</p>	化粧品小売業
	<p>ウォンツが2/15にオープンし多くの来場者があった。菓（ビール・食料品など）以外も販売しており地区の薬局やその他小売店に多大な影響が出ている。倒産や廃業の情報は今のところなく平穏に見えるが、小規模事業者のどの業種も将来の展望は見えない。飲食業で人気店が出てきているが小売業など</p>	各種商品小売業 岩国市

	物を仕入れて売る商売では苦戦しており、今後廃業が増えると思える。	
	1 社廃業されたこともあり、対前年比で売上・収益とも悪化している。	各種商品小売業 柳井市
	売上減少等のため、この2月、3月末に店を閉めるところがある。シャッターを開けなければいけないところ、逆にシャッターを下ろしてしまうという難しい状況で、雇用も減少し、駐車場の売上にも影響が出ている。3月はイベントもあるので、組合全体で頑張りたい。	各種商品小売業 山口市
	うるう年の昨年と比較すると、今年は客数、売上とも前年を下回る状況となっている。	各種商品小売業 長門市
商店街	2月中旬以降は気温が上昇し歩きやすくなったのか、来街者が増加しているが、最終冬物バーゲン、春物購入、月末のプレミアムフライデー等をどう売上に結びつけるか取組まなければならないが、今一盛り上がり欠けている。3/11から春の「わくわくウイーク」イベントの実施に向けて計画中である。	山口市
	各店の売上が伸びていないなかで、玩具店は引き続いて忙しい模様である。洋品店は卒業・入学等の話が多少出だしたのでこれから忙しくなるとの事。3月には多少景気が上向くことを期待している。	萩市
サービス業	上旬は寒さから来店も少なく売上も少なかったが、年金支給月で年配者の来店は嬉しいもの。春間近を感じさせる暖かい下旬あたりから、来店客が増えてきた。	美容業
	寒さが厳しく来店サイクルが長くなり厳しさが増すばかりで、回復の兆しさも見えない状況が続いている。	理容業
	2月15日に「県内進学・仕事魅力発信フェア in やまぐち」が維新公園スポーツ文化センターで開催され、県内の高校生（1・2年生）約2,000人が訪れた。組合としても人材不足が深刻な自動車整備業界及び自動車整備士の魅力を発信するため参加しPRを行った。自動車整備士コーナーには計37名もの生徒さんが訪れてくれ、我々の話を真剣に聞き留めてくれ、1名の女子高校生は、「将来は自動車整備士になりたい」との希望を語ってくれ、こういった機会の重要性を認識した。	自動車整備業
	人手不足が続いている。パートタイム労働者の有給休暇取得率は高い。	スポーツ・ 健康教授業
	宿泊人員及び売上高は対前年同月比87%となり、大幅な前年割れとなった。昨年はプレミアム宿泊券（有効期限2月末）の駆込みでの使用が多くあり、	旅館業 山口市

	<p>116%であったためと閏年で1日多かったことも一因と考察される。</p>	
	<p>ビジネスホテルでは、1月の発注工事がずれ込んでいる模様で労働者の宿泊が少なく売上が減少しているが、その他の宿泊者についてはやや好調であった。観光ホテルでは、1グループの人数が多く単価も上がっている様子で、全体的に好調の模様である。</p>	旅館業 下関市
	<p>施設利用者（入浴者数）の減少が続いており売上高は前年同月比17%減となった。高齢化により雇用の状況が悪化している。売上高の増加対策が必要となっている。</p>	旅館業 長門市
	<p>景気の回復状況に変化はないが、例年2月の売上は低調な月であるが落ちなかっただけにムード的には上昇機運にあるのかもしれない。飲食業界全体は受動喫煙強化法案阻止で団結が強化しているが、これも物理的にできない店舗と可能な店舗に分かれており、法案の成立次第では、零細小規模店舗が消滅する可能性が懸念される。少子高齢化の影響は飲食業界にも及び、高齢店舗の閉店が目立ち若手経営者との交代が進んでおり、外国人対応可能な店舗も出来は始めている。</p>	飲食業
	<p>例年2月は業界全体の閑散期で、各店では繁忙期へ向けての準備をしている模様である。ユニクロなどが販売しているシームレスダウンの経時劣化に注意しようなど、現在のファッションアパレル状況の情報交換をし、事故のないように冬物衣類の取り扱いをすることなど、春の繁忙期へ向けて勉強も行っている。</p>	普通洗濯業
建設業	<p>1月の山口支部中電への工事申請は288件。太陽光発電への申請90件、オール電化申請130件、LED街路灯への切替・新設申請26件であった。売電価格引下げ前の太陽光新設駆け込み受注が目についた。</p>	電気工事業
	<p>工事量は1年余り前より減少している。3～4年前より好決算の事業所が増えているが、経営規模の小さい事業所は決算内容の良くないところが案外多い。決算の好調な事業所では、技能者の賃金（年収ベース）がかなり上昇しているものと予想される。</p>	左官業
	<p>組合員は受注分の工事を99%完了し、検査と精算待ちの状態である。仕事量が多い時期は人員不足であるが、この時期は多くの人員が必要でなくなるので、常勤者の雇用がなかなか出来ない。人件費を除く工事歩掛（ぶがかり）の発表は4月1日の予定で、平成29年度入札の始まりは5月のゴールデンウィークの頃の見込みと、例年より少し早まる予定であ</p>	管工事業

	る。組合としては各種歩掛の発表を受けて見積等の研修を行う予定である。	
	例年2月は仕事の少ない時期で降雪等の天候もあり、各社仕事の確保・工事量の消化に苦労している。昨年から、仕事量の減少、事業承継者がいない等により廃業を決断する事業所が見うけられるようになった。	屋根工事業
	年度末までの内装工事がほぼ落ち着いてくると思われたが、小さな物件が溜まっていたらしく2月以降に集中し忙しくしている。しかし大まかな工事はほぼ完成しているため、売上は忙しい割には伸びていない。3月以降も内装仕上げの職人不足は続きそう。	内装工事業
	組合員は年度末で少しだけ忙しいが、4月以降の工事発注量を心配している模様。雇用に関して地区の業者はすごく消極的に感じられる。困っている人に対して、「俺の所に来い、面倒見てやる」という建設業者の度量が感じられないし、空元気もない。	土木工事業 柳井市
	2月の受注高は、対前年同月比136%。今年度の累計は対前年比96%。	土木工事業 萩市
運輸業	輸送関係は低調である。輸出関係は横ばい、国内輸送は2020年オリンピック関係の資材輸送が本格的になり、トレーラー車のドライバー不足が大きく影響し、前年同月比でマイナスとなった。中短距離関係は、やや順調に推移した。燃料費は2.2円の値上げ。運賃は据え置き状態での燃料費の値上げは、中小輸送業者の経営を圧迫している。	一般貨物自動車運送業 下松市
	輸送受注量は、全体的には前年並みとなったが、自動車部品関連が大きく落ち込んだ。来期もこの流れが続く模様で回復の期待は薄い。燃料費は依然低位にあるが、昨年比では15%程度上昇している。	一般貨物自動車運送業 防府市
	安定して荷動きが続いている。倉庫業の保管案件も含め、学生服・書籍等の季節商品の輸送・保管が増えている。また、相変わらず人員の確保に苦労している。県内の景気も上昇を見せ企業の求人が増えている中で、物流業というのは敬遠されがちのようである。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	前年同月に比べ組合員は2名減少し売上も比例して減少している。新規組合員の加入なく、譲渡の形での増員しか望めないなかで譲渡も75才までと決まっているため、現状維持も難しいのが実情。	一般旅客自動車運送業 下関市

	<p>タクシーチケットの取扱金額は、前年比▲0.025%（平成29年1月1日～平成29年2月20日分）。1月1日～31日分は▲2.9%、2月1日～20日分は+4.9%。1月20日までは好調であったがその後が不調で、月間では▲2.9%になった。2月も前半は好調であったので、前年のうるう年との比較でも、ほぼ前年並みの金額になると思われる。当組合の取扱いは、光市，下松市，周南市，防府市の地域だが、1月分については、周南▲5.3%、下松▲3.0%、光▲8.7%、防府+7.3%、組合員全域で▲3.0%、地区外（員外）で▲1.9%、合計▲2.9%であった。ブリヂストン防府工場、鹿野診療所、下松の医院、新笠戸ドック、東ソーなどの利用が増加した。山口チケットセンターのチケットの当地区利用、周南の泉原病院、新日鉄（光）、武田薬品（光）の利用金額が減少した。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、ブタン、プロパンのCPが急騰（前月457.5\$/トンが今月547.5\$/トン）、為替は少し円高になったが、前月より+9%となった。前年2月分に比べると+21%となり今後の推移が大いに心配される。タクシー乗務員は慢性的に不足しており、高齢で退職する人員減少を採用で補いきれないため稼働できない車両がある状況。</p>	<p>一般旅客自動車運送業 周南市</p>
<p>その他 非製造業</p>	<p>相変わらず介護分野における雇用が厳しい。外国人技能実習生（介護）の規制緩和があればいいと思う。</p>	<p>介護事業</p>